



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 スーパーバッグ株式会社
コード番号 3945 URL <https://www.superbag.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 04-2938-1244

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	20,632	6.2	904	169.4	956	168.2	829	198.8
2023年3月期第3四半期	19,423	0.9	335		356		277	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 945百万円 (127.2%) 2023年3月期第3四半期 416百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	542.60	
2023年3月期第3四半期	181.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	16,681	3,930	23.5
2023年3月期	14,125	2,985	21.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,917百万円 2023年3月期 2,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				0.00	0.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,800	6.1	950	111.1	990	109.7	740	56.4	484.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	1,686,154 株	2023年3月期	1,686,154 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	158,216 株	2023年3月期	157,953 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	1,528,052 株	2023年3月期3Q	1,528,279 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、国内の経済活動は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界的な金融引締め政策による景気減速や物価高による個人消費の落ち込み懸念、ウクライナ・中東地域をめぐる情勢の悪化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましては、原材料価格の高止まり、円安進行といった外部要因の影響は続いているものの、人流の活発化・インバウンド消費により包装資材需要は増加傾向にあるほか、段ボール製宅配資材の紙袋化の流れを受け、紙製品事業は好調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは2021年6月30日に公表した中期経営計画『次世代パッケージ企業への転換』の最終年度にあたり、『環境対応と成長基盤確立のための3ヵ年～本気の変革～』を基本方針とし、事業構造改革の完遂に向けて、「事業構造の転換」、「新規事業の発掘」、「コスト削減」、「業務運営の効率化」、「組織・人員の見直し」などの取り組みを加速し、環境戦略の強化、構造改革の徹底に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,632百万円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益904百万円（前年同四半期比169.4%増）、経常利益956百万円（前年同四半期比168.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益829百万円（前年同四半期比198.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントのセグメント損益（営業損益）は、「セグメント情報」に記載のとおり、各セグメントに配分していない全社費用455百万円を配分する前の金額であります。

「紙製品事業」

紙製品事業につきましては、国内における個人消費の回復もあり、主力の角底袋、宅配袋、手提袋、紙器の販売が引き続き堅調に推移し、売上高は前年同期に比べ1,175百万円増加して11,214百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は原材料費が増加したものの、調達先の見直し、紙製品事業へのリソース集中・生産体制の効率化に伴う利益率の向上により、前年同期に比べ361百万円増加して1,058百万円となりました。

「化成品事業」

化成品事業につきましては、環境意識の高まりから、包装資材の紙化の流れが継続し、売上高は前年同期に比べ191百万円減少して4,310百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、価格改定による粗利益率の向上のほか、数年来取り組んだ固定費の削減、不採算事業の整理により、収益性の大幅改善・黒字化を達成し、前年同期に比べ176百万円増加して135百万円となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、S・V・S（スーパーバッグ・ベンダー・システム）を主たる事業として展開しております。売上高は前年同期に比べ224百万円増加して5,108百万円となりました。品目ごとの販売構成では、清掃用品が減少し、レジ用品が増加しております。セグメント利益（営業利益）は粗利益額が増加したことから、前年同期に比べ38百万円増加して165百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,556百万円増加して16,681百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が260百万円増加、売掛金が1,686百万円増加、電子記録債権が123百万円増加、棚卸資産が237百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2,349百万円増加の12,170百万円となりました。固定資産は、減価償却で178百万円減少した一方、設備投資等により353百万円増加、投資有価証券の時価評価差額が107百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ207百万円増加の4,511百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,611百万円増加して12,751百万円となりました。これは、賞与引当金が85百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が643百万円増加、電子記録債務及び設備関係電子記録債務が610百万円増加、短期借入金及び長期借入金が209百万円増加、未払金及び設備関係未払金が89百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ945百万円増加して3,930百万円となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益計上により829百万円増加、その他有価証券評価差額金が75百万円増加、為替換算調整勘定が50百万円増加したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の21.0%から23.5%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月2日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,193	2,454
受取手形	208	210
売掛金	3,622	5,308
電子記録債権	746	870
商品及び製品	2,204	2,494
仕掛品	324	291
原材料及び貯蔵品	380	360
その他	140	180
流動資産合計	9,821	12,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,547	4,655
減価償却累計額	△3,864	△3,945
建物及び構築物（純額）	682	710
機械装置及び運搬具	6,914	7,139
減価償却累計額	△6,370	△6,457
機械装置及び運搬具（純額）	543	681
土地	644	644
リース資産	543	561
減価償却累計額	△370	△375
リース資産（純額）	172	186
建設仮勘定	8	6
その他	433	445
減価償却累計額	△415	△421
その他（純額）	17	23
有形固定資産合計	2,068	2,253
無形固定資産		
電話加入権	15	15
リース資産	0	2
その他	16	13
無形固定資産合計	31	30
投資その他の資産		
投資有価証券	1,548	1,616
差入保証金	108	107
退職給付に係る資産	368	365
繰延税金資産	132	112
その他	51	31
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	2,203	2,227
固定資産合計	4,304	4,511
資産合計	14,125	16,681

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,766	3,409
電子記録債務	2,821	3,315
短期借入金	1,321	1,453
リース債務	143	89
未払金	395	490
未払法人税等	102	118
未払消費税等	39	86
契約負債	30	8
賞与引当金	198	112
設備関係電子記録債務	13	130
設備関係未払金	6	1
その他	123	201
流動負債合計	7,962	9,417
固定負債		
長期借入金	2,267	2,345
リース債務	227	268
役員退職慰労引当金	34	40
退職給付に係る負債	647	678
固定負債合計	3,177	3,334
負債合計	11,139	12,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,374	1,374
資本剰余金	1,241	1,241
利益剰余金	275	1,104
自己株式	△263	△264
株主資本合計	2,627	3,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	206	281
繰延ヘッジ損益	0	△2
為替換算調整勘定	148	199
退職給付に係る調整累計額	△10	△16
その他の包括利益累計額合計	344	461
非支配株主持分	13	13
純資産合計	2,985	3,930
負債純資産合計	14,125	16,681

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	19,423	20,632
売上原価	15,786	16,475
売上総利益	3,636	4,157
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	1,709	1,686
給料及び手当	958	951
賞与引当金繰入額	50	59
退職給付費用	43	33
賃借料	113	98
旅費及び交通費	43	48
その他の経費	383	375
販売費及び一般管理費合計	3,301	3,253
営業利益	335	904
営業外収益		
受取配当金	32	36
持分法による投資利益	53	43
為替差益	—	7
受取賃貸料	3	17
その他	9	15
営業外収益合計	99	121
営業外費用		
支払利息	66	60
為替差損	3	—
その他	8	7
営業外費用合計	78	68
経常利益	356	956
特別利益		
固定資産売却益	13	0
投資有価証券売却益	—	14
リース債務解約益	0	—
助成金収入	2	0
特別利益合計	16	14
特別損失		
固定資産除却損	8	1
固定資産売却損	5	—
特別損失合計	14	1
税金等調整前四半期純利益	359	970
法人税、住民税及び事業税	53	149
法人税等調整額	27	△7
法人税等合計	81	141
四半期純利益	277	828
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	277	829

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	277	828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82	75
繰延ヘッジ損益	△3	△3
為替換算調整勘定	35	39
退職給付に係る調整額	10	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	13	11
その他の包括利益合計	138	117
四半期包括利益	416	945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	415	945
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	8,268	—	—	8,268	—	8,268
紙器	998	—	—	998	—	998
その他紙製品	772	—	—	772	—	772
ポリ袋	—	3,606	—	3,606	—	3,606
その他化成品	—	894	—	894	—	894
その他商品	—	—	4,883	4,883	—	4,883
顧客との契約から生じる 収益	10,038	4,501	4,883	19,423	—	19,423
外部顧客への売上高	10,038	4,501	4,883	19,423	—	19,423
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	10,038	4,501	4,883	19,423	—	19,423
セグメント利益又は損失(△)	696	△40	127	782	△447	335

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△447百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	紙製品事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
紙袋	9,219	—	—	9,219	—	9,219
紙器	1,175	—	—	1,175	—	1,175
その他紙製品	818	—	—	818	—	818
ポリ袋	—	3,633	—	3,633	—	3,633
その他化成品	—	676	—	676	—	676
その他商品	—	—	5,108	5,108	—	5,108
顧客との契約から生じる 収益	11,214	4,310	5,108	20,632	—	20,632
外部顧客への売上高	11,214	4,310	5,108	20,632	—	20,632
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,214	4,310	5,108	20,632	—	20,632
セグメント利益	1,058	135	165	1,359	△455	904

(注) 1. セグメント利益の調整額△455百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。